

人間関係講座（グループ）第80回 [春]

グループの中での人間関係の理解のために：基礎コース

担当者	楠本 和彦（南山大学人文学部准教授） 金田 裕子（南山大学人文学部心理人間学科講師）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。 私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。 この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。 ①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく ②「コンテンツ」と「プロセス」とは何かを理解する ③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。 なお、この講座（または過去の人間関係講座＜グループ＞）を修了された方を対象に、グループの人間関係をさらに深く学ぶための「グループプロセス応用講座」が開催されます。
日程	2010年10月2日（土）10：00～18：00 10月3日（日） 9：00～17：00 土日集中
定員	各36名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	担当講師 楠本 和彦 記 10月2日（土）・3日（日）に第80回人間関係講座（グループ）が行われました。参加者数は34名でした。ファシリテーターは金田、楠本が担当しました。 2日間に亘って、異なるタイプのグループワークにメンバーのみなさんは取り組まれました。ラボラトリー方式の体験学習では、ふりかえりとわかちあいを重視していますが、メンバーのみなさんは、ファシリテーターが立てた予想時間を越えて、充実したふりかえり、わかちあいを行っていました。2日間最後の全体インタビューでは、2日間の学び・気づきとしてそれぞれの方が印象的な言葉を語ってくださり、ファシリテーターとして、とてもうれしく聴かせていただきました。 体験学習にこれからも継続的に触れ続けていただき、また、いつかお会いできることを楽しみにしています。